

記入例

別記様式第4号（第5条の2関係）

鳥取県大学等奨学資金貸与申請書							
フリガナ	トットリ タロウ		住 所	〒 680-9999			
申請者氏名	鳥取 太郎			鳥取市〇町△丁目□□□番地			
生年月日	年 月 日生			電話番号 (0857) 〇〇-xxxx			
申請に係る資格	鳥取県立 〇×高等 学校 全日制 課程 普通 科 在・卒			年 月 高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格 検定）合格			
進学予定学校の種別	※ 大 学 ・ 専修学校（専門課程）						
生計を一にする家族及びその所得	○ ×	続柄	氏 名	年齢	所得等の種類	収入金額（税込） ・売上高	所得（利益）金額 （税込） ⑤
	○ ×	父	① 鳥取 春男	45	給与	② 4,500,000	③ 3,060,000
		母	鳥取 夏子	42	給与	3,500,000	2,270,000
		叔	鳥取 秋男	70	農業 年金	1,500,000 ④ 1,500,000	600,000
		姉	鳥取 冬子	21	無職	0	0
【上の番号についての説明】							
① ○：主に家計を支えている人、×：別居している人（単身赴任など）							
② 「令和元年（平成31年）分所得証明書」の「収入金額等」欄より転記							
③ 「令和元年（平成31年）分所得証明書」の「所得金額等」欄より転記							
④ 「令和元年（平成31年）分所得証明書」の「年金収入額等」欄より転記（年金受給者）							
就学者	続柄	氏 名	設置者別	学校種別		学年	通学別 （小・中を除く。）
	本人	鳥取 太郎	※国・公 ・私立	※小・中・高・高専・大 ・専修（高・専）・その他		3 学年	※ 自宅・自宅外
	妹	鳥取 花子	※国・公 ・私立	※小・中・高・高専・大 ・専修（高・専）・その他		1 学年	※ 自宅・自宅外
	弟	鳥取 次郎	※国・公 ・私立	※小・中・高・高専・大 ・専修（高・専）・その他		2 学年	※ 自宅・自宅外
			※国・公 ・私立	※小・中・高・高専・大 ・専修（高・専）・その他		⑥ 学年	※ 自宅・自宅外

注1 ※印は、該当のものを○で囲むこと。

2 家族のうち、主たる家計支持者には○印、別居者には×印を付けること。

（注）

⑤ 別表第1の特別控除額表に基づく所得金額からの控除は県で計算しますので、控除額を除かずに記入してください。

⑥ 「その他」は特別控除額表の校種に当てはまらない学校（各種学校等）の場合に○をつけてください。

	特 別 の 事 情	該 当 欄 (該当する欄に○ を付けること。)	必要な添付資料等
家 庭 事 情	(1) 障がい者のいる世帯		該当者の障害者手帳の写し
	(2) 長期療養者のいる世帯	○	該当者の治療費の領収書の写し（3月以上継続した治療に係るものに限る。）
	(3) 主たる家計支持者が別居している世帯		当該家計支持者の住居費、光熱水費の領収書の写し
	(4) 災害等を受けた世帯		下欄に具合的な事情、状況等を記載し、それを説明する資料を添付すること。
	(5) その他特別な事情がある世帯	○	
	(上記4、5に該当する世帯にあつては、その事情、状況等を具体的に記載すること。)		
		
		
		
		
		

上記のとおり記載事項に相違ありませんので、鳥取県育英奨学資金貸与規則の規定により、大学等奨学資金の貸与を申請します。

令和 ○ 年 ○ 月 ○○ 日

鳥取県教育委員会 様

各自、自署してください。

申請者 氏名 鳥取 太郎

法定代理人 氏名 鳥取 春男

㊞

住所 鳥取市○町△丁目□□□番地

申請者との続柄 (父)

注1 申請者及び法定代理人は、氏名をそれぞれ自署すること。

2 法定代理人は、申請者が未成年者である場合に、その親権者（共同親権者の場合は、その代表者）を記載すること。